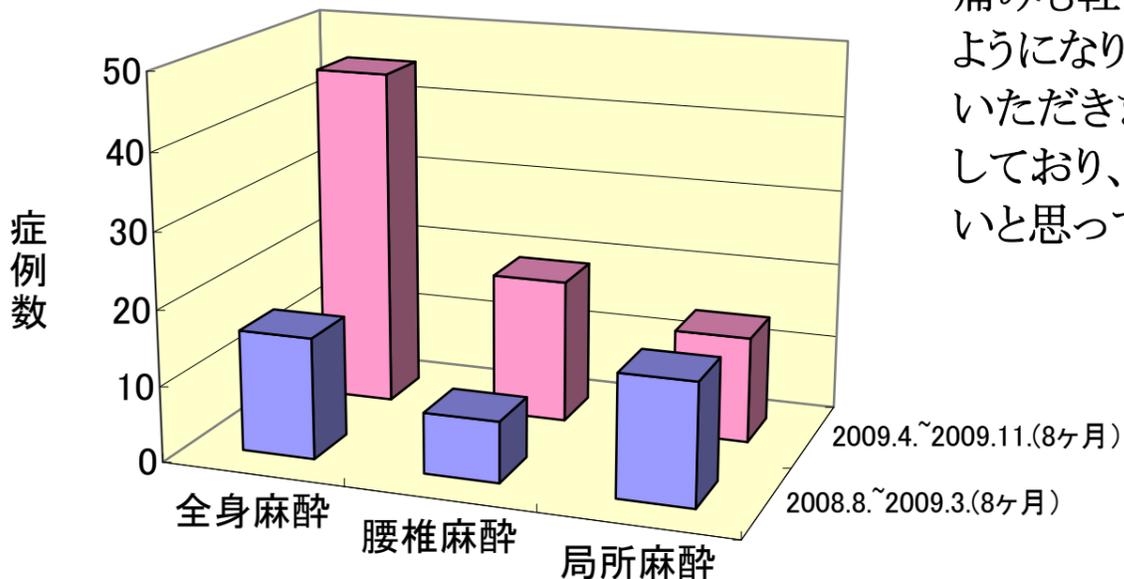


# 外科 手術症例のご報告

昨年4月より当院外科部長として赴任して以来、11月まで8ヶ月が過ぎました。ご覧の通り、手術方法や麻酔など医療技術の進歩により、以前に比べますと、術後の痛みも軽減、回復も早まり、無理なく早期に退院できるようになりました。昨年4月の当院赴任時に挨拶させていただきました通り、“安全な手術”を当科の第一目標としており、これからも安全を最優先と肝に銘じてまいりたいと思っております。

外科部長 久保田 太輔

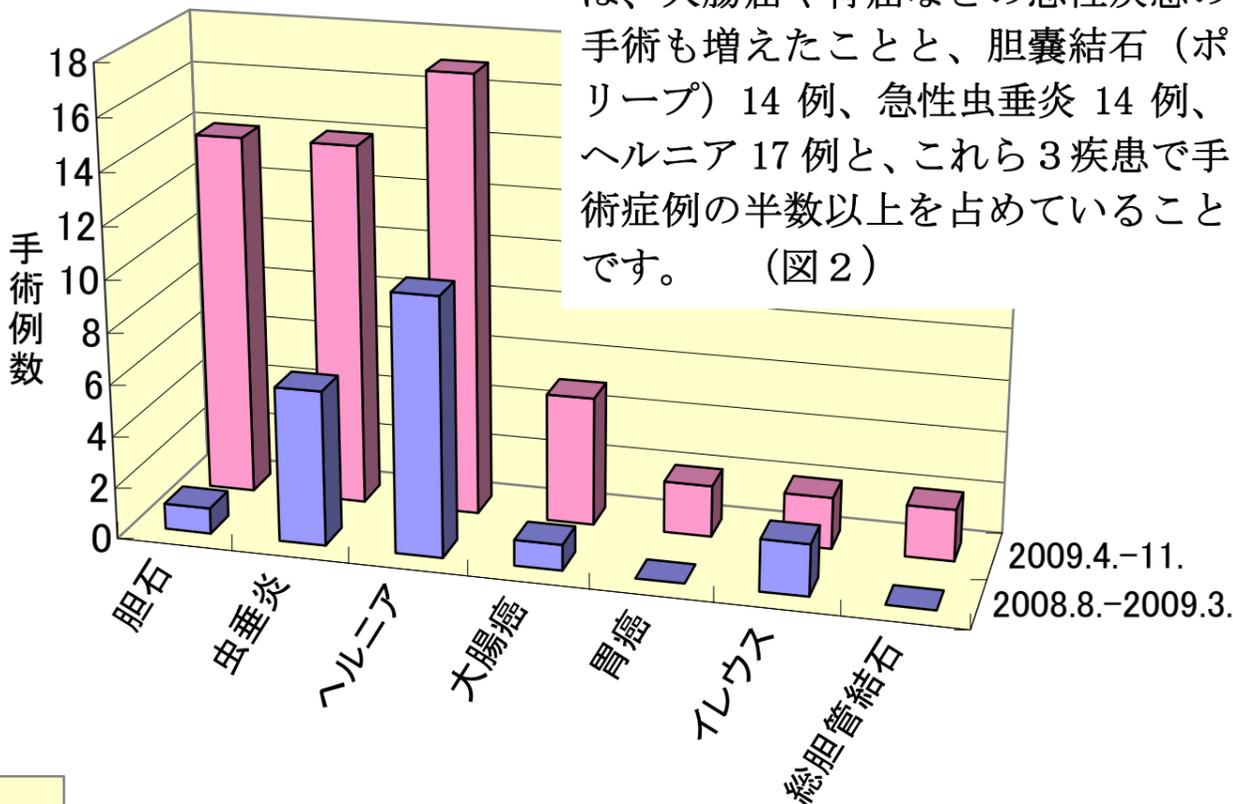
外科手術症例数 (図1)



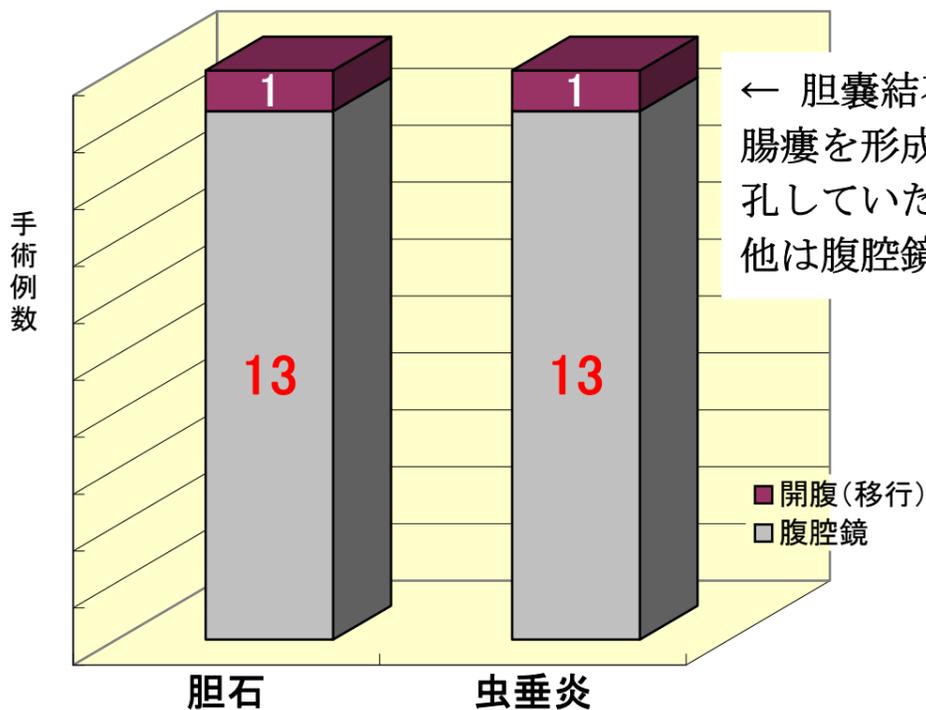
↑ 開院以来、昨年3月までの8ヶ月と、昨年4月から11月までの8ヶ月を比較しますと、全身麻酔手術で約3倍、腰椎麻酔（または硬膜外麻酔）手術は2倍以上の増加となりました。(図1)

主な疾患別手術例数 (図2)

↓ 当院外科の手術症例内容の特徴は、大腸癌や胃癌などの悪性疾患の手術も増えたことと、胆嚢結石（ポリープ）14例、急性虫垂炎14例、ヘルニア17例と、これら3疾患で手術症例の半数以上を占めていることです。(図2)

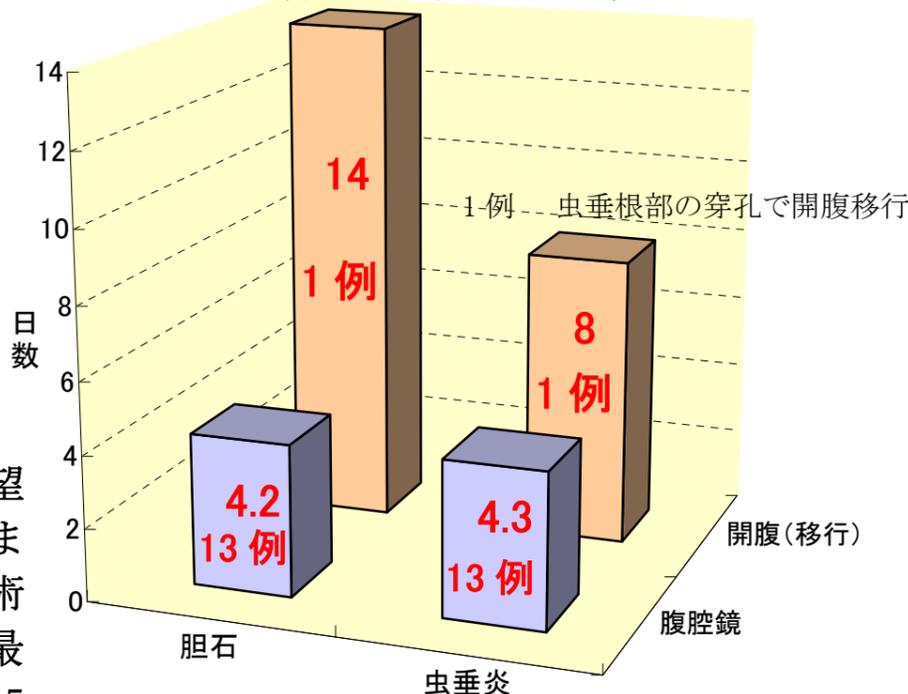


腹腔鏡手術症例 (図3)  
2009.4.~2009.11.(8ヶ月)



← 胆嚢結石、急性虫垂炎は、全例に腹腔鏡手術を施行し、胆嚢十二指腸瘻を形成していた胆嚢結石による慢性胆嚢炎の1例と虫垂根部で穿孔していた急性虫垂炎の1例は、安全を優先し開腹移行致しましたが、他は腹腔鏡下にすべて副損傷なく終了しています。(図3)

1例 胆嚢十二指腸瘻で開腹移行; 十二指腸閉鎖術



術後平均退院日数 (図4)  
2009.4.~2009.11.(8ヶ月)

腹腔鏡手術症例も、全例、術後の合併症もなく、患者様のご希望にあわせるかたちで早期に軽快退院していただくことができました。ゆっくり入院をご希望される患者様にもあわせながら、術後の平均退院日数は胆嚢結石で4.2日（術後2日目、3日目が最多）、急性虫垂炎で4.3日（術後4日目が最多）、鼠径ヘルニア3.5日となりました。(図4) →